

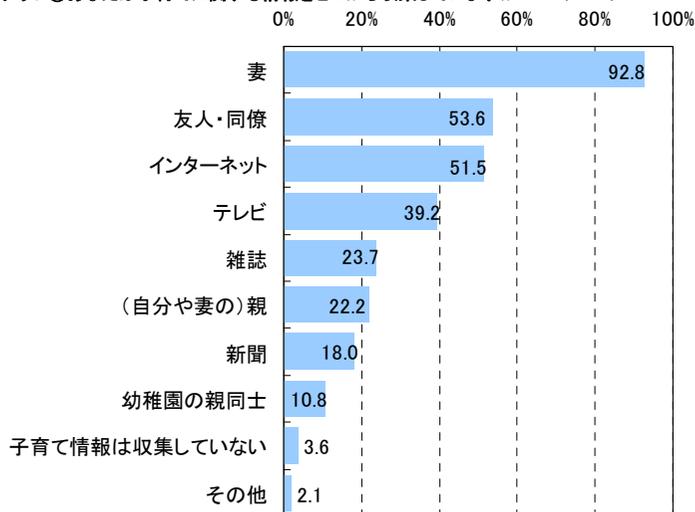


園行事のために仕事を休むことへの抵抗感薄れる

子育て情報の収集源は、ママが前年より10ポイント以上増え、92.8%で圧倒的1位。パパとママがより密に育児について情報交換をしている様子うかがえる。また、友人・同僚から情報を得るパパも昨年の48.3%から53.6%に増え、過半数になった。インターネットから情報を得るパパは前年の27.7%が51.5%となり、ほぼ倍増だ(グラフ①)。

「一緒に遊ぶ」「お風呂に入れる」「レジャーに連れて行く」パパは85%以上(グラフ②)。幼稚園の行事への参加も運動会は約9割、入園式は8割、参観日は7割と高水準(グラフ③)。4人に3人が子どもの行事で仕事を休んだ経験があり、6割が仕事を休むことに「抵抗がない」「やや抵抗がない」と答えている(グラフ④・⑤)。

グラフ①あなたは子育てに関する情報をどこから収集していますか？ (n=194)



園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

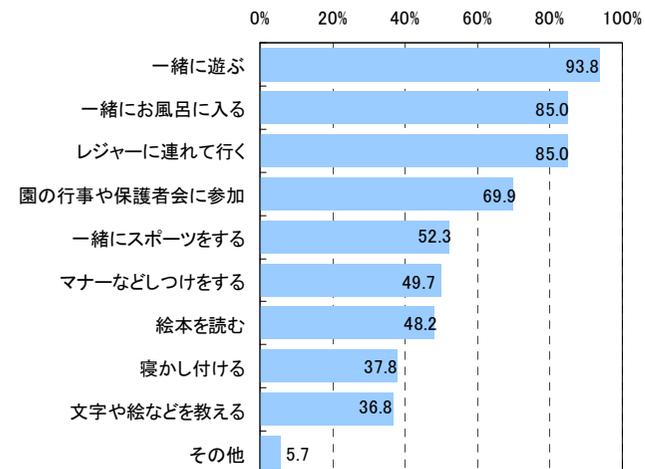
(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

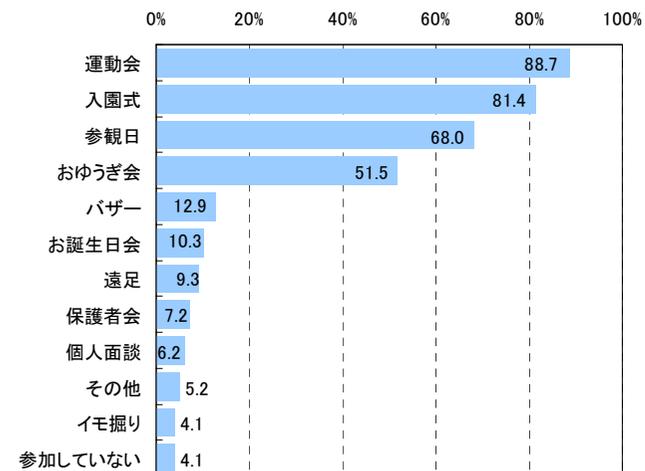
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

グラフ②パパの育児内容を教えてください (n=193)

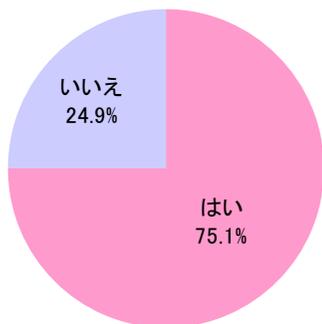


グラフ③幼稚園のどの行事に参加していますか？ (n=194)

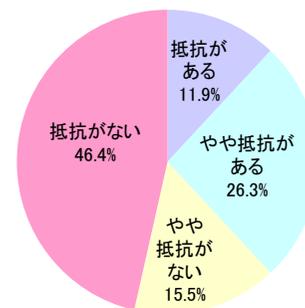




グラフ④子どもの行事で仕事を休んだことがありますか？ (n=193)



グラフ⑤仕事を休んで子どもの行事に参加することに抵抗はありますか？ (n=194)



父親が育児支援制度をもっと使えるようになるには？

- サービス残業、サービス休日出勤、徹夜するのが偉いという風潮が当たり前なので、育児支援制度どころではない。利用を促進するには国の強制にするしかないと思う。(東京都・39歳パパ)
- まだまだ浸透していないので、この制度を自分の会社で使えるのかどうかもわからなく言い出し辛い空気がある。もっと会社側がこの制度があるということをアピールしてくれたらこちらも言いやすいと思う。(北海道・37歳パパ)
- 育児支援の制度は仕事の状況もありどの職種にも同じ様に当てはめられるものではないので強制すべきではない。古い考え方もかもしれないが、母親は子どもが小さいうちはそばにいてあげてほしい。多少貧しくても保育所は最終手段であってほしい。不器用な父親は週末だけのほうがよいのではと思います。(埼玉県・40歳パパ)

園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

<調査概要>

- 2013年6月7日～6月30日実施の「あんふぁん」誌面アンケートの回答から、194件を集計

<調査実施>あんふぁん